



平成30年10月15日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
グループ総務部長 坂爪 浩
(TEL . 03-6735-1001)

羽田＝ウィーン線の開設に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社は、2019年2月17日(日)より、羽田＝ウィーン線に就航することを決定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

羽田＝ウィーン線を新規開設します

～ 欧州の路線ネットワークをさらに強化し日本・EU 間の交流拡大に貢献します ～

ANA は、2019 年 2 月 17 日(日)より羽田＝ウィーン線を新規開設いたします。ウィーンは、ANA として欧州では 7 番目、世界では 44 番目の就航都市であり*1、欧州における路線・便数は合計 7 路線、週 112 便となります。羽田・成田両空港の長所を生かした「首都圏デュアルハブモデル」の推進により、引き続き国際線ネットワークを拡充しさらなる成長につなげていきます。

日・EU 間における経済連携協定への署名を契機に、自由貿易が促進されることでヒト・モノの交流がより一層拡大していくことが見込まれています。羽田を深夜に出発し現地に早朝到着、ウィーン空港での乗り継ぎを含め欧州各都市にも午前中に到着できる利便性の高いダイヤとすることで、日欧間の旺盛なビジネス需要を取り込んでいきます。

ウィーンは中・東欧へのゲートウェイであり、共同事業パートナーであるオーストリア航空をはじめとするルフトハンザグループ各社の便へ乗り継ぐことにより、欧州域内 68 都市へのスムーズなアクセスが可能となります。ウィーンからは高速鉄道などの地上交通を利用することで、中・東欧各都市への渡航がさらに便利になります。また、ウィーンは中・東欧における物流の拠点でもあり、欧州の中心に位置する地理的優位性を活かして周辺地域も含めた貨物需要を取り込んでいきます。

2019 年、日本とオーストリアは国交樹立 150 周年となる節目の年を迎えます。ウィーンは、音楽・芸術など観光資源も豊富で、「世界で最も住みやすい都市」に選出され*2、今後さらに観光需要が高まっていくことが期待されています。ますます便利になる ANA をぜひご利用ください。

なお、航空券の予約・販売は 10 月 22 日(月)より開始いたします。

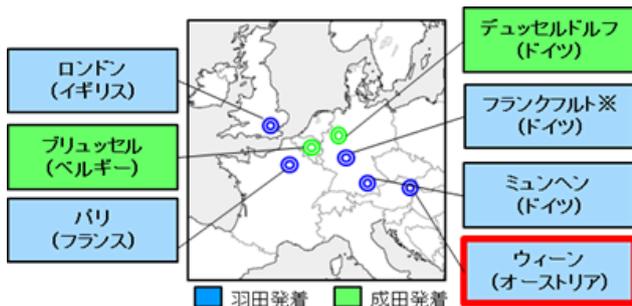
| | |
|---------------|---|
| 路線 | 羽田＝ウィーン ※2019年2月17日(日)より新規開設 |
| ダイヤ (現地時間) | NH205 羽田 01:55 ⇒ ウィーン 06:00 NH206 ウィーン 11:50 ⇒ 羽田 06:55 (翌日) ※毎日運航 |
| 使用機材 | ボーイング 787-9(215 席仕様 : ビジネスクラス 48 席/エコノミークラス 167 席) ※当日の運航状況により、運航機材が変更となる場合がございます。 |

※これらの計画は関係当局の認可を前提としています。スケジュールは予定であり都合により変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

*1 貨物便のみ就航している中国・天津を含む。旅客便は 43 都市に就航

*2 英国・エコノミスト誌の調査部門「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット(EIU)」のランキングで第 1 位に選出

《 ANA 欧州ネットワーク 》



※フランクフルト線は 1 日 2 便運航。その他路線は 1 日 1 便運航

《ウィーンからのネットワーク》



※ルフトハンザグループ各社便への乗り継ぎにより
欧州域内 68 都市へのアクセス可能